

清流NEWS

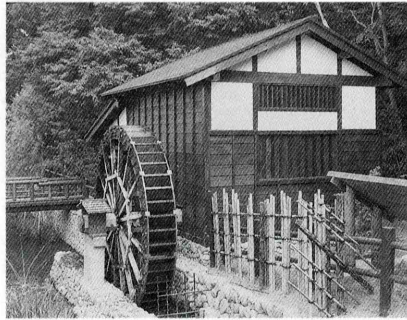
〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1 Tel 042-585-1111

発行日 1月・4月・7月・10月

Vol. 87

発行

日野市
環境共生部
緑と清流課



水車の音を楽しんでください

向島親水路は高幡不動駅の新しい北口から歩いて5分。潤徳小学校の校庭を左に見ながら直進すると向島の親水路が見えてきます。

向島親水路

清流ニュースで、順次、紹介していきたいと思えます。今回は、第1回目として「向島親水路」を紹介いたします。

用水路案内

多摩川と浅川の二つの川が流れ水に恵まれた日野市には、江戸時代に築造が始められた用水路が流れています。様々な恵みをもたらしてくれる水に支えられて東京の穀倉地帯として日野の原風景が広がっていました。

潤徳小学校の校門を過ぎて、小さな石の橋(ほほえみ橋)を渡ると向島親水路です。かつての向島用水はコンクリート護岸に覆われておりました。しかし、水田が少なくなると農業用水路としての役目は少なくなっていました。平成7年には、農業用水としての機能はそのままに、周辺の環境や生態系に配慮した、人に潤いと安らぎを与える親水路として整備いたしました。

現在では、農業用水・生活用水としての利用は激減して、環境用水・防災用水としての利用は116キロとなっています。江戸時代から築きあげてきた日野の用水路には美しい水辺があります。

魚類を中心とした水生生物の生息環境に配慮いたしました。こうして、向島親水路が完成しました。親水路が完成してから十数年の月日が流れて、今ではすっかり、市民の憩いの場所として定着しています。春になれば、木々が芽吹き、美しい緑色の葉が太陽に反射して光り輝きます。蟬の音が聞こえるようになります。水辺に遊ぶ子ども達のはしゃぎ声のとぎれることはありません。木々の緑はますます濃くなり、親水路の道を歩く私達に優しい木陰を与えてくれます。秋を迎えると、木々は赤や黄色の衣に着替えて私達の眼を楽しませてくれます。北風が吹く頃には葉っぱ達は、すっかり落ちてしまつて親水路は明るくなります。でも、木々達



向島親水路で遊ぶ子供たち

は春に向けて芽吹きの準備をしています。待ち焦がれた春はもうすぐです。暖かくなったら、親水路の水辺に降りて春を実感したいですね。向島親水路には、一年を通じて私達に安らぎを与えてくれます。水車小屋で水車の回る音に耳をかたむけてください。ほほえみ橋のそばには、あずまやもあります。腰をおろして休憩してください。駅から歩いて5分の至近距離に、自然といっしょになれる水辺空間があります。



ほほえみ橋のそばです

(K・A)